



下京のひびき

市民しんぶん
下京区版
2/15

推計人口 70,254人
男 32,803人
女 37,451人
世帯数 31,919世帯
(平成10年1月1日現在)

……住み慣れた所で…… 暮らし続けるために……

在宅介護を考える

市内でも、お年寄りの割合がスが徐々に充実してきています 分のペースで生活を送れるよう
高い下京区。人口の22・5%が が、介護は、まだまだ家族の負 になるのが理想ではないでしょ
65歳以上となっています。(平 担が大きいのが現状です。 うか。
成10年1月1日現在)

人生80年の今、いくつになっ 介護が必要な人はお年寄りだ
昨年12月に「介護保険法」が ても、また、例えば体が不自由に けでなく、体に障害のある人や、
成立したり、様々な福祉サービ なっても、生きがいをもって自 病氣の人など、年齢も介護内容

も、多様化しています。
介護内容には、専門的な知識
が必要なこともあります。が、ほ
とんどは、食事や着替え、散歩
の介助など日常生活に関するこ
とで、少しでも生活しやすいよ
うにするものです。

今回は、区内で実施されてい
る様々な福祉サービスや、ボラ
ンティア活動をされている人を
通して、在宅介護を中心とした
福祉について紹介してみたいと
思います。(2面 関連記事)



入浴サービス、洗髪してさっぱり



小川 博士(西大路小5年)
豪華な部屋になるように家具やじゅうた
んなどを工夫しました。



栗生 亜弓(光徳小5年)
夏休みにオルカショーを見ました。とて
も大きなオルカにびっくりしました。



ひとりがみんなのために

支え合って生きがいを！

みんながひとりのために

のぞいてみませんか

「下京ハーティー」

西京、山科区に続き市内について、月1回程度話しあう「下京ハーティー」の開催が、介護者の皆様の会下京ハーティー。世話人を含め、会員の皆様の協力により、介護者の皆様の悩みや体験を語り合い、仲間づくりを進めたり、福祉施設や、介護について学習し、心も体もリフレッシュする場としてつくられました。発足時に、5人の世話人を決め、先進の2区の活動を参考に、今後の活動



ボランティアスクールで介助の実習

自分が今、出来ること

阪神淡路大震災で、ボランティア活動が目ざされ、以後、自分が出来る範囲で活動を進めている人が増えています。区社会福祉協議会では、基礎知識や介護技術などを学ぶ「ボランティアスクール」を開き、ボランティアの知識を深めてもらっています。参加者は受講後、デイスーパーや入浴サービスなどで活躍されています。今回、入浴サービスにお

わがまち
再発見



<26>

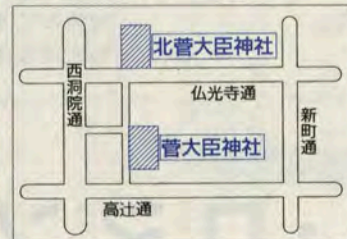
菅大臣神社
菅大臣神社
菅大臣神社
菅大臣神社

菅大臣神社は、平安朝初期菅原道真の邸及び菅家邸と称する学問所があったところであり、道真誕生の地とも伝えられ、境内には産湯に使ったという井戸も保存されています。道真の詩集である菅家

道真誕生の地、門人たちの学問所



一夜にして筑紫に飛んだという飛梅発祥の地でもあります。菅大臣神社の北の北菅大臣神社には父是善を祀り、別名紅梅殿と呼ばれています。菅大臣神社はこれに対して白梅殿と呼ばれて、室町筋近くの染物の職人さんの町中において受験、学問の神様として信仰されています。



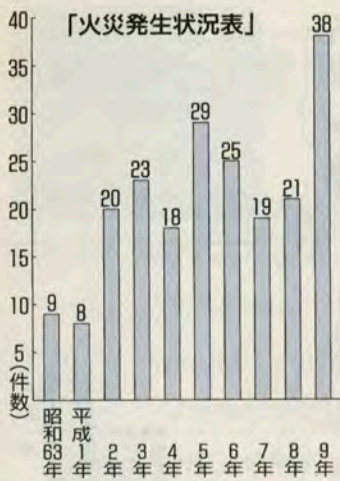
火災発生ゼロをめざして

一人ひとりが再確認

火災の取扱い

★昨年の火災発生状況

下京区内で平成9年中に発生した火災は、38件。つまり区内では、一か月に3件発生した。火災発生が増加し、貴重



な財産が失われるなど物的損失の増加であるとともに、「人命危険」の増加でもあるといえます。何よりも尊い「人の命」を守るため、みんなが協力して、出火防止・焼死者防止の対策を推進することが大切です。

★火災が発生しないようにするには
○ 台所での火の取扱いや喫煙の場所・方法・後始末、暖房器具の使用場所や使用方法など、火災発生原因となる火気取扱いについて、防火の点検を行いま

しょう。
○ 屋内外の可燃物の整理整頓に努め、地域ぐるみで放火されない環境をつくりましょう。
○ 耐震自動消火装置、立ち消え安全装置、天ぷら鍋過熱防止装置等が付いた器具を使用しましょう。



★焼死者が発生しないようにするには

○ 災害時に避難が困難な方、小きな子どもなどはできるだけ出入口（避難口）に近しい場所です。また、衣類や寝具、枕などは防災製品を使用

用するようにしましょう。
○ 隣近所が協力して、日頃からお年寄りなどの安全に注意し合い、みんなが安心して暮らせる安全なまちづくりを推進しましょう。



詳しくは、下京区社会福祉協議会（☎301・1000）まで。昨年12月からは、ホームページも開設されているので、ご利用ください。

区社会福祉協議会と各学区福祉協議会では、「ひとりがみんなのために」を協力して実施。お年寄りはもちろん介護者の方にも好評です。

在宅福祉サービス

http://www.mediawars.or.jp/fukusi09

区内の催し

2/15～3/14

日時	催し名(場所)	主催
3/8(日) 10:00～	皆山学区自主防災訓練 (皆山中学校)	皆山自主防災会
3/8(日) 19:00～	有隣学区ボウリング大会 (山科MKボウル)	有隣体育振興会

※1月上旬現在、編集部で把握している催し。詳しくは主催者へ。

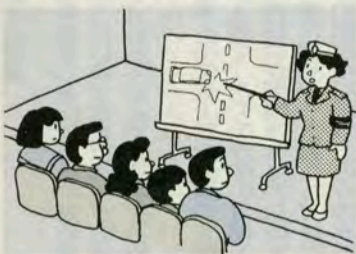
交通対策協議会30周年・交通対策推進連絡協議会10周年記念

『下京区民 交通安全のつどい』

＝3/14(土)京都駅室町小路広場＝

交通事故を防止し、安全に安心して暮らせる下京区を目指して交通安全運動を推進している交通対策協議会が創立30周年を迎えます。また、区内の各学区で日頃から地域の交通安全のため活動している学区交通対策協議会で組織されている交通対策推進連絡協議会が創立10周年を迎えます。

交通対策協議会では、交通安全運動期間中に街頭啓発を行い、広く交通安全を呼び掛けています。日頃は、学区内の迷惑駐車・駐輪のパトロールや危険箇所の点検、小学生の通学路の安全確保や交通安全教室の開催、お年寄りに対する交通安全指導などを行っています。また、学区内で行われる夏まつりや各種催しなどで参加者の交通安全を確保するなどさまざまな取組をしています。



功労者表彰や警察音楽隊演奏など

今回創立30周年を迎えるにあたり、地域で交通安全運動にご尽力いただいている方々の功績をたたえ、今後ますますの積極的な活動を願うとともに、区民の皆さんに広く交通安全意識の高揚と正しい交通マナーの実践を訴えるため、記念式典を行います。

式典では、交通安全活動の功労者に対する表彰、感謝状の贈呈の他、区内の各小学校から寄せられた交通安全に関する作文の優秀作品の表彰を行ったあと、警察音楽隊による記念演奏や交通巡視員による交通安全教室など多彩な催しが繰り広げられます。

皆さん、ぜひ、ご参加ください。

日時 3月14日(土)午後1時30分～
場所 京都駅ビル 室町小路広場
内容 功労者表彰
作文の優秀作品表彰
警察音楽隊による記念演奏
交通安全教室
など
主催 区交通対策協議会
区交通対策推進連絡協議会
問合せ 区役所地域振興課

手軽に情報をキャッチ

区役所ロビーに

「洛中洛外」を設置

スポーツ・生涯教育・観光など京都市が持つ情報を画面で見ることが出来る「洛中洛外」。

操作はタッチパネルの必要な所を触るだけでいろいろな情報を見ることが

出来ます。

今回、区役所1階ロビーに設置しましたので、総合庁舎にお越しの際はぜひご利用ください。



編集部から

◎「山茶花の 紅強き 雪帽子」 サクサクと春の足音を確かに感じつつ、今日も企画推進号で下京区内を鼻を赤くし、おでこを出して走っています。(斉)

◎春はもうすぐそこまで来ています。瞳を閉じ、耳を澄ませば「春のメロデー」が聞こえませんか。(神)

◎今年は暖冬? 普段、自転車を足代りにしている私にとって、暖冬はありがたいのですが、スキーをするには…。複雑な心境の、今日この頃です。(里)

編集部では、皆さんの声をお待ちしています。

送付先 下京区役所企画総務課 下京のひびき 編集部(〒600-8588 下京区西洞院通塩小路)上る)

今年も個性的な作品がズラリ 下京区民ギャラリー

区内において、写真を趣味とする方の日頃の成果を発表する場として好評の「下京区民ギャラリー」を今年も開きます。皆さんの力作を、ぜひご覧ください。

日時 3月2日(月)～13日(金)
午前8時30分～午後5時
場所 下京区役所 1階ロビー
主催 区ふれあい事業実行委員会
問合せ 区役所地域振興課

毎月28,000個のトイレットペーパーに变身

紙パック、ちょっとの手間で“宝もの”

分別回収にご協力願います

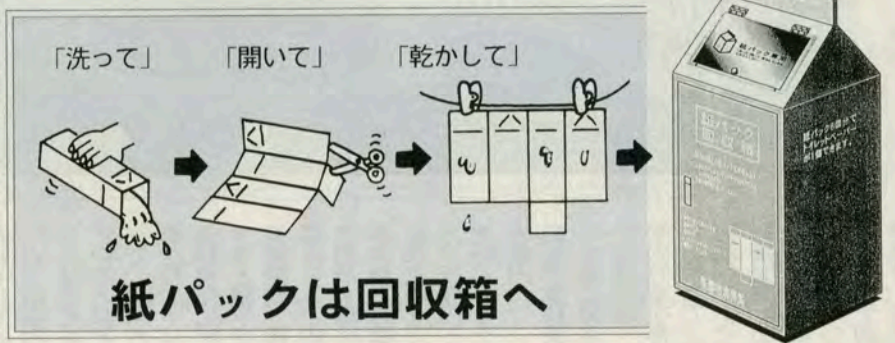
昨年から実施している紙パックの分別収集。皆さんのご協力で毎月約17万枚(約5,500kg)の紙パックがリサイクルされています。

この紙パックは、トイレットペーパーにして約28,000個に变身しています。

地球の環境保全とリサイクルと循環型社会を築くため、引き続きご協力をお願いします。

紙パックの出し方

洗って、開いて、乾かして、回収容器に入れてください。

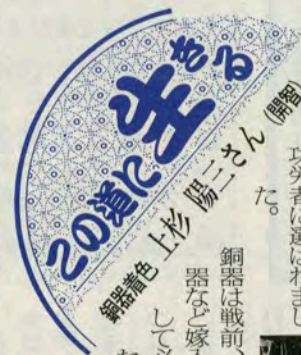


紙パックは回収箱へ

◀ 回収拠点 ▶

下京区役所(西洞院通塩小路)上る)
下京清掃事務所(中京区壬生下溝町45)
崇仁隣保館(下之町6-3)
エビスク(七条公設小売市場) (新町

通七条下る)
グリーン六条(六条通下識訪町西入る)
ファミリア烏丸高辻店(烏丸松原上る)
浅井牛乳店(西七条北東野町30)
問合せ 清掃局ごみ減量リサイクル推進室(☎222-4091)



20年に生きた銅器職人 上杉陽三さん(静岡)

銅器は戦前、火鉢や華子など嫁入り道具として必需品でした。高辻通時は納得した色が出ません。各種展覧会にも積極的に出品されている上杉さんは休みの日にも美術館や博物館を巡って銅器のデザインに応用できるか考えておられるとの事でした。



最初に紙ヤスリで銅器を磨き、次に硝酸銅等を加えた酢を塗って酸化させて下地を作り、最後に自作した薬を束ねた簀に着色料を付け、本体を熱しながら着色します。後は熱でイボタの「蠟」を溶かして定着させて仕上げます。

着色料には本緑青・紅緑・松煙・鉄錆など色々あり、割合と煮沸、いぶし、焼きなどの技法によって色の仕上がりは変わります。

伝統の銅器守って50年

美術銅器は古来から陶磁器・漆器とともに、床の間の香炉、置物、花瓶など室内装飾品として愛用されてきました。海外でも日本の伝統の「美」として有名です。今月は銅器店「上杉青龍堂」の三代目としてこの道一筋50年、金属工芸である銅器の着色と販売をされてきた上杉陽三さんにお話を伺いました。

軒も漆器屋や銅器屋があって、嫁入り道具が一通り揃ったのですが、現在は店の数も減少しています。上杉さんの作業は工場に発注して型出した十二支や花瓶、置物などの器に着色することが中心です。付ける色によって工程は何種類かあります。中でも斑模様や青黒い色の特徴の「叢青銅色」着色技法は全国でも最高レベルにあります。